

《大きな歯牙模型》



歯牙をペットボトル、歯肉を紙粘土で模して作成する模型です。

- 1 6歳臼歯のはえ方
- 2 健康な歯肉の状態
“健康な歯肉”（ピンク色の面）
“歯肉炎”（赤色の面）
- 3 デンタルフロスの使い方
の情報提供をします。



- 材料・道具を準備する
- ・紙粘土（白・赤・ピンク）
 - ・手芸わた
 - ・木工用ボンド
 - ・割りばし



- ・ペットボトル
2,000mlのもの
（永久歯用）
500mlのもの
（乳歯用）



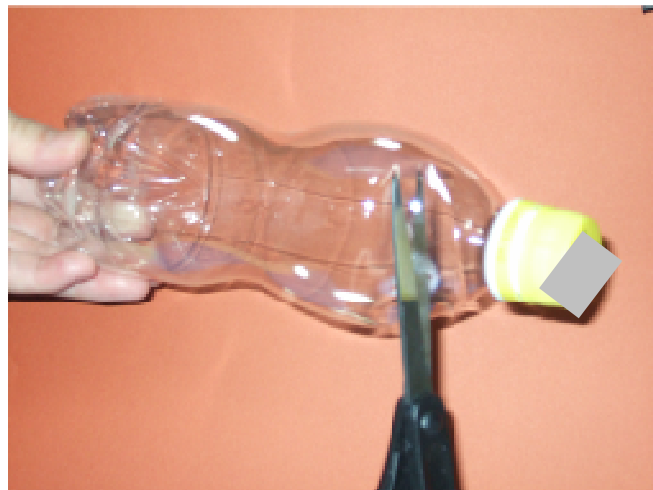
- ・牛乳パック（土台用）
- ・トレー
（ペットボトルと牛乳パックの隙間をつなぐ用）
- ・はさみ
- ・ライター



- ▶ ペットボトルの底を歯牙の“かみ合わせ”部分に見立てて模型を作成します。
炭酸飲料のペットボトルは底に凹凸があり、かみ合わせに見立てやすいです。



- ▶ ペットボトルの飲み口付近をライターの火であぶり、小さい穴を開けます。



- ▶ 火で空けた穴にはさみを入れて、歯牙にする部分を切り取ります。



- ▶ 切り取る大きさは、左の写真を参考にしてください。



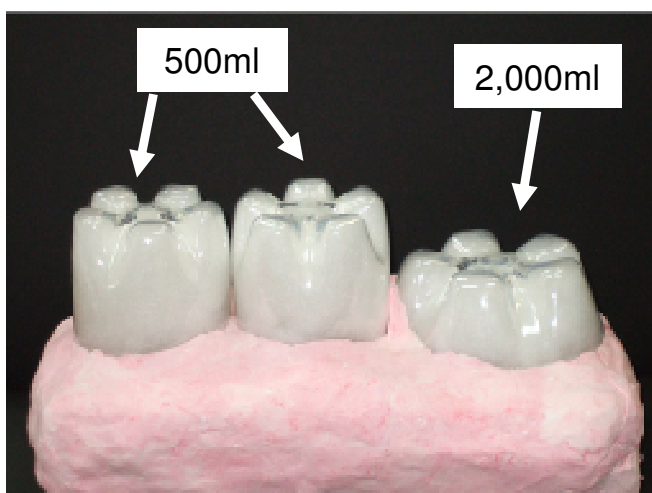
- 切り取ったペットボトルに綿を詰めます。適時割り箸を使用します。



- 歯肉の土台を牛乳パックでつくります。
土台が安定するように粘土をはりつけます。



- 綿を詰めたペットボトルは牛乳パックにはりつけた粘土に差し込むように立てます。
トレーをペットボトルと牛乳パックの隙間にあわせて切り出して、木工用ボンドで接着します。接着したら、その上に歯肉に見立てた粘土をつけていきます。

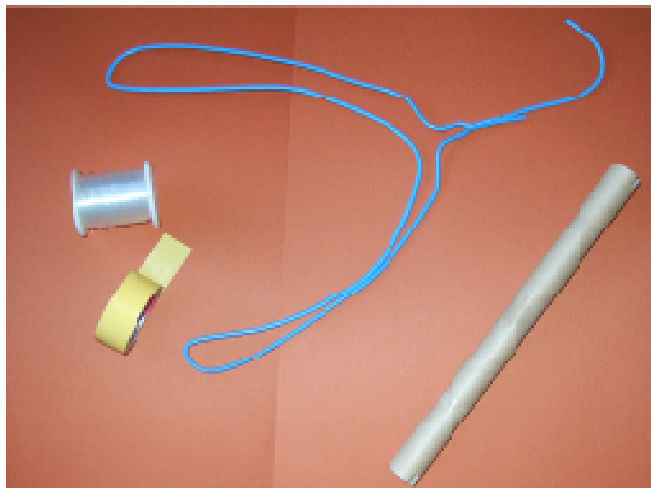


牛乳パックの側面も同様に粘土をつけて仕上げます。

- 2,000mlのペットボトルを“6歳臼歯”に見立てます。はえ方の説明、はみがき方法の説明に活用できます。



- ▶ 片面を赤色に仕上げ、歯肉炎の状態を説明します。
- ▶ 反対の面をピンク色に仕上げ、健康な歯肉の状態を説明します。



《大きなデンタルフロス》

- ▶ 材料
 - ・ワイヤーハンガー
 - ・ビニールテープ
 - ・ナイロン糸
 - ・ラップの芯
- ▶ ワイヤーハンガーをデンタルフロスの形状に曲げます。
持ち手の部分にラップの芯を差します。そして、左図のようにビニールテープを巻き、形を整えます。
ナイロン糸で“フロス”の部分を再現します。

